

【経済・経営研究科博士前期課程（第2期）：日本経済史】

問題1

【出題の意図】

- ①古代から現代に至る土地制度の大きな変化について、正確に把握できているか、を問う問題。
- ②古代・中世の土地制度上、重要な「寄進地系荘園」の全盛期について、問う問題。
- ③近世の農村自治の担い手「村方三役」について、問う問題。

【模範解答】

- ①公地公民・太閤検地・地租改正・農地改革
- ②12世紀
- ③名主（庄屋）・組頭・百姓代

問題2

【出題の意図 A】

17世紀前半の徳川幕府の商業政策について、知識を問う問題。

【模範解答 A】

以下の事象が、適切に記述されているか、吟味。字数の制約（600文字）から、必ずしも全て、網羅的に綴る必要はない。なお誤記や、誤字・脱字等があれば、その程度に応じて、減点する。

- ・石高制、年貢・諸役等の公定。
- ・三都の都市的・市場的整備。三都への「蔵物」「納屋物」の回漕、送付。
- ・慶長金銀、寛永通宝の発行、三貨の統一。度量衡の統一。宿駅・伝馬・飛脚・為替・手形等の整備。
- ・五街道、諸街道、内陸水運、海路等、全国規模の交通的インフラの整備。
- ・南蛮貿易、朱印船貿易、蘭、明、清、朝鮮等との貿易。幕府の独占的貿易権の確保等々。

【出題の意図 B】

いわゆる「明治農法」について、知識を問う問題。

【模範解答 B】

以下の事象が、適切に記述されているか、吟味。字数の制約（600文字）から、必ずしも全て、網羅的に綴る必要はない。なお誤記や、誤字・脱字等があれば、その程度に応じて、減点する。

- ・内務省、農商務省、大日本農会等の主導の下、明治前期から後期にかけて、全国規模で推進された新時代の農業。

- ・欧米の先進的農業技術・知識等の加えて、近世以来の伝統的農業の技術・知識等を加味している。
- ・中村直三、林遠里、船津伝次平、奈良専二等を始めとする「老農」の指導の下、「農会」「地主会」「農談会」（農事改良のための講話会）等を介して、草の根的に一般農民に広まる。
- ・米麦、その他、優良な多収品種の改良・普及化、魚肥、大豆粕の多用、種籾の塩水選、短冊苗代、正条植え、乾田馬耕等の奨励・普及化をもって、その特色としている。  
等々。